

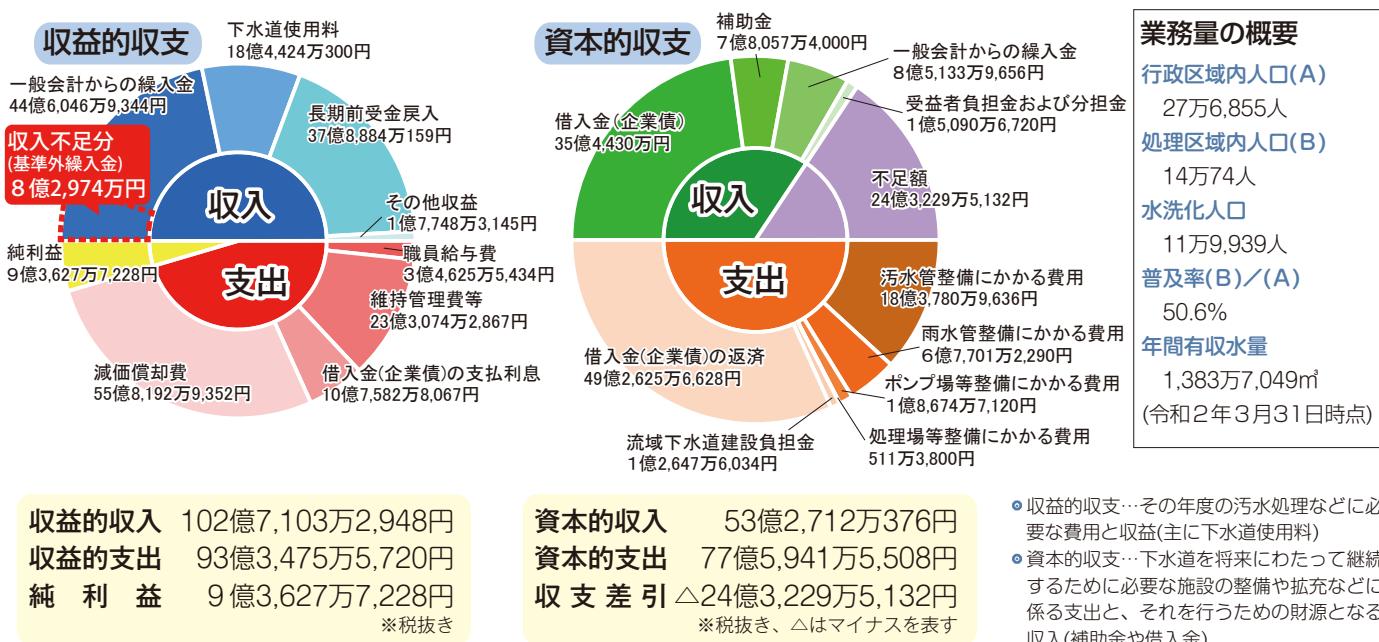
下水道だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.10

令和2年11月1日発行
経営企画課
☎237-5801 FAX 237-5819

津市の下水道事業をもっと知っていただくために、下水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は公共下水道事業会計の令和元年度決算状況を見ていきます。

令和元年度決算をしてみよう！(下水道事業会計)



令和元年度決算が出たんだね。下水道事業は経営が厳しいって聞いてたけど、純利益が約9億円も出ているんだね。

確かに収益的収支(グラフ左)では基準外繰入金約8億円をもらって純利益が約9億円出ているんだけど、これは全て資本的収支(グラフ右)の不足額約24億円に充てられるんだ。

基準外繰入金ってなに？

下水道事業は汚れた水をきれいにする汚水処理事業と、浸水対策を行う雨水整備事業があって、汚水処理事業については、原則、使用料収入などで費用を賄うんだけど、不足分が出た場合は止むを得ず一般会計から繰入金をもらうんだ。これを基準外繰入金というんだよ。

じゃあ、基準外繰入をしているということは、みんなの税金が使われているということだよな。

令和元年10月に使用料を改定したから、平成30年度と比較すると下水道使用料の収入が約2億円増えて、基準外繰入金を約3億円減らすことができたんだけど、まだ足りていない状況なんだ。

令和元年度も不足分を税金で賄う状況が続いているんだね。



令和2年3月(上屋建築完了)